

1. 幼稚園(すみれ台幼稚園)の教育目標

・ じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・ やさしい心	友だちとの協調性を育む
・ がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・ 興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

2. 令和2年度 事業計画の重点目標

1 遊びを楽しみ、園児が主体的に活動できる環境作りをする
2 自分の思いや考えを持ち、それを表し、行動できるようになる

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない C:取り組みが不十分)

	評価項目	結果	内容等	関係者評価
1	保育の計画性、重点目標	B	感染防止の休園など見通しが立たない中、休園・再開の状況で取り組める保育内容を並行して計画の検討をした	A
2	保育の在り方、 幼児への対応	A	行動の制限や友達と会えない状況により受けた心のケアを行いながら、一人ひとりの様子を見て、保育を行った	A
3	保育者としての 資質や能力	B	オンライン保育と預かり保育を継続しながら行った。今回の経験を活かし、今度対応できるように準備をしたい	B
4	保護者への対応	A	連絡アプリを導入し、保護者からの連絡事項をいつでも受け取れるようになった。また、直接話す時間の確保ができ、子どもの様子を共有することができた	A
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	地域との直接のかかわりは、今の状況では難しかったが、近所のスーパーやSNSでの情報の発信を行って様子を伝えた	B
6	自己研修など	B	自己研修を行ったが、1年通した継続研修や協会団体の研修も中止となり、少なかった	B

4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ これまで縦割り保育を多く取り入れていたが、今年度はコロナウイルスの状況をふまえ、屋外など環境を限定して行った
- ・ 年長児が率先している姿や声掛けが見られた

5. 今後取り組む課題等

計画について

- ・ 縦割り保育活動の環境の再検討、少人数だからできることを取り入れる

研修、自己啓発について

- ・ 研修や研究を全職員で共有、姉妹園であるまどか幼稚園とオンライン研修も行っていく

6. 学校評価委員からのコメント

- ・ 運動会や発表会を幼稚園で行ったが、子どもが近く、よく見れた
- ・ このような状況で地域との交流は難しいが、富士屋の展示やHP・SNSなど地域への発信を積極的に行って欲しい
- ・ コロナ禍で保育の計画や毎日の消毒は大変だったと思う。預かり保育・消毒液の配布などありがたかった
- ・ 来年度は子どもたちが思い切り遊べるよう願っている